

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

全国会議ニュース



2024年6月19日発行 (No.35) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

<https://www.fzenkoku.net/>

2024年度 第3回 社会福祉経営全国会議

定時社員総会(5/31)が開催されました (開催報告)

— 前日には「トップセミナー」も行い、計160名の参加がありました —

社会福祉経営全国会議 会長 茨木範宏

◆時間をかけしっかり議論。また、来賓から熱い連帯の挨拶をいただきました

2024年度定時社員総会を名古屋会場(ウインクあいち)とオンラインを結び、これまでとちがって朝10時から午後3時までたっぷり時間をとって開催しました。当日は会場50人、オンライン110人、計160人の方に出席いただきました。あらためてお礼を申し上げます。

来賓あいさつでは、きょうされん理事長:斎藤なを子

様、全国経営懇副会長:安川信一郎様、全日本民医連事務局次長:林泰則様から、あたたかい連帯と励ましの言葉をいただきました。



◆多様な各ブロック・支部での活動や法人の取り組みが紹介されました

討論では12名の方から以下の発言がありました。「虐待事案への法人対応」「障害者相談支援事業の消費税課税問題」「子どもたちにもう1人の保育士を！運動」「高齢分野から報酬改定の問題点と経営への影響と運動課題」「人材確保対策部会から夢かな成功のために」「管理職養成学校」「経営職ゼミナール」「社福経

営INFOの編集体制」「北海道・東北ブロック活動の報告」「大阪支部結成 ～ぼちぼちいこか～」「第2回全国交流会 in 関東の報告」「第3回全国交流会を九州で開催する意義」いずれの発言も議案を深め、今の情勢と切り結びながら、各分野、地域、各とりくみの様子がよくわかり、分野をこえて学びを深める討論となりました。

◆福祉の情勢が厳しくなる中、多くの仲間の結集を、全国会議200法人を目指して



全国会議発足から5年目を迎えました。平和と社会福祉をめぐる情勢のきびしさは増すばかりですが、私たちが「権利としての社会福祉」の実現という旗をかがげ、保育・児童・障害・高齢の分野をこえた全国組織として活動する意味と役割を、総会を通じて共有し実感できたのではと思います。と同時

に仲間の輪をもっと広げなければならないことも痛感します。

目標である200法人組織まであと一步のところまで来ました。利用者、家族、職員、地域の福祉、そして経営を守り発展させるため、さらに私たちの活動を質量ともに充実させるため、2024年度の活動を意気軒昂にすすめていきましょう。今年度もよろしく願いいたします。



名古屋の総会会場「ウインクあいち」にもたくさんの方の参加がありました。ありがとうございました。



★ 前日の夜には「懇親会」を開催！ 45名が参加していただきました

和やかな雰囲気での交流になりました。



♡ 要員スタッフの皆さん、ありがとうございました

5/30 社会福祉経営トップセミナー を開催しました

社会福祉経営全国会議 事務局 加藤 淳
(名古屋キリスト教社会館)

経営力の深化をめざし、総会前日(5/30)の午後にとっぷり時間をとって計画しました。名古屋駅前のウィングあいちでの開催は 3 回目です。オンラインを含め 130 名の参加。

瀨瀨厚氏(山口大名誉教授)は、岸田政権が戦争への道を歩んでいることを示し、日本の経済を国民本位に転換し、日本国憲法を生かし、日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざすことを提起し

ました。永岡正己氏(日本福祉大名誉教授)は、社会福祉の誕生からの歴史の中で、本来戦争とは相容れない福祉が、時に政権に利用され、変節させられる中でも生き続け、現在に至る様子を膨大なデータを語んじながら語りました。

東北、九州からも会員の参加があり、やはり学びも対面が一番と痛感しました。

新年度 顧問の方との契約継続が進みました…

悩む事の多い日常事業の中で 気楽にご相談をお寄せください

6 月に社会福祉経営全国会議と契約いただいている、各分野の顧問の先生方との顧問契約の継続をお願いしました。

顧問の先生方には、2024 年度の「社会福祉事業セミナー」での講師をお願いしつつ、様々な法人や施設の相談に応じていただいています。「財務」に関連して契約している大阪中央会計の山本匡人先生は経営実態調査に関しての分析にも業務受託していただいています。「労務」の特定社会保険労務士の井村佐都美先生には日頃より、いくつかの法人の相談が寄せられ、「法務」の南大阪法律事務所、西川大史先生には「ハラスメント」に関して今年も講演をいただく予定にしています。

また、IT 関連の顧問として、「KYOSO」の松本先生には、複雑なパソコン関連やネット接続などの相談にもこたえていただいています。

これらの外に総合社会福祉研究所様とは、今年度の経営実態調査活動での契約をお願いしています。

各法人や施設でのお困りの事などがありましたら、事務局を通じてになりますが、気楽にご相談ください。

その場合、まずメールにご相談の内容を簡単にご記入の上、事務所にお寄せください。

※相談は電話などでは基本、無料ですが、相談を継続される時などでは有償での相談や業務委託の形態になる場合もあります。

第4期 管理職養成学校が 始まります

-参加メンバーが決まりました！-

今年も8月22日の「開校式」から、第4期の管理職養成学校が始まります。

今回も全国からの申し込みがあり、24名の「入校」が決まりました。

この一年、受講生の皆さん、頑張ってください。そして「送り出し法人」関係者の皆様には手厚い後援やご支援をお願いします。

◆2023年度受講生
第3講座でみんなで
記念写真を撮りました



「社福経営 INFO」が新しい編集体制の下 No.81・82号が発行されました

この度「社福経営 INFO」が新しい組織での発行がスタートしました。責任者は峰島厚先生に担当していただき、集団での編集・発行体制が整いました。以前にもまして、期待の声が上がっています。

ぜひ学習会などでも活用していただき、情勢や新たな知識を得る手段として活用をお願いします。

「INFO」は会のホームページからご覧になれます。

国の「骨太の方針」原案がまとまり、示されました…

ことしの経済財政運営の基本方針「骨太の方針」の原案がまとまりました。骨子としてはデフレからの完全脱却に向けて賃上げを定着させるため、労働市場改革などを推進するとしています。一方、財政面では、来年度に基礎的財政収支を黒字化する目標は維持するとしています。

具体的内容には、「能力に応じて全世代が支え合う『全世代型社会保障』の構築を目指す」ことなども含まれ、日本財政の「財政の健全化」や「労働市場の改革」などと共に私たちの福祉事業にも大きくかわる内容になっています。

全国会議では、2024年度「骨太の方針」についての学習会を予定しています。ぜひ、多くのご参加をお願いします。日程などが決まりましたらお知らせします。ぜひご参加ください。